

# 松本市パーソントリップ調査結果の 状況報告

# 目次

---

- 1 . 調査実施概要
- 2 . 調査回収結果
- 3 . 回収～マスターデータ整備までの流れ 現在の状況
- 4 . 次回（第7回）委員会での報告事項（案）

# 1. 調査実施概要

## 松本市パーソントリップ調査について

- 「どんな人が」「いつ」「どこからどこへ」「どんな目的で」「どんな手段で」移動しているか、**市民の日常の移動実態**を調査する。
- 今回の調査は、市民の移動実態の概要を把握することを目的に、一般的なパーソントリップ調査の規模（6～8%程度）に比べて**小規模で実施**するが、代わりに、**平休1日ずつ**を対象とし、多様な分析や戦略的な計画策定、また、庁内の他の検討でも活用可能な調査結果データを作成する。

- 調査時期 : 令和7年6月
- 調査対象 : 松本市居住者の5歳以上(住基台帳から世帯単位で無作為抽出)
- 調査規模 : 約7,800世帯を対象に約2,000世帯(約4,000人)の回収を想定  
(目標標本率: **1.78%**)  
最終的に**8,016世帯**に調査票を郵送
- 調査日 : 平日、休日の各1日(全対象者に平休1日ずつ回答頂く)
- 調査方法 : 郵送配布・郵送回収
- 調査票 : 別紙参照

# 1. 調査実施概要

## 調査スケジュール

- 第5回委員会で承認頂いた、以下のスケジュールで予定通り実施。

	調査物件	調査日	お札はがき	投函期限
第1ロット	6/3(火)発 6/5(木)着	平：6/10(火) 6/11(水) 6/12(木) 休：6/15(日)	6/18(水)発 6/20(金)着	6/23(月)
第2ロット	6/10(火)発 6/12(木)着	平：6/17(火) 6/18(水) 6/19(木) 休：6/22(日)	6/25(水)発 6/27(金)着	6/30(月)
第3ロット	6/17(火)発 6/19(木)着	平：6/24(火) 6/25(水) 6/26(木) 休：6/29(日)	7/2(水)発 7/4(金)着	7/7(月)

調査日は全て6月

調査日のうち「平日」は、ロット内の対象者にそれぞれ3日間のうち1日を割り付けて実施する（調査対象者自身は選択しない。あくまで、こちらがランダムに指定した1日の行動を回答して頂く形）

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

## 2. 調査回収結果

### 回収結果

- 調査進捗上の目標回収世帯数2,107世帯 に対して、**2,320世帯、4,582人分**を回収（世帯目標達成率：110.1%）

目標有効世帯数1,999世帯に対して、無効票5%を予め考慮した調査上の目標値

	基数				
	目標有効世帯数	目標回収世帯数	目標回収世帯数第1ロット	目標回収世帯数第2ロット	目標回収世帯数第3ロット
	A	B=A × 1.05	B1=B × 0.42	B2=B × 0.30	B3=B × 0.28
01_中央部地域	128	135	56	41	38
02_中央北部地域	201	212	89	64	59
03_東山北部地域	186	196	82	59	55
04_東山中部地域	115	121	51	36	34
05_東山南部地域	43	46	19	14	13
06_南部地域	304	320	134	96	90
07_中央南部地域	388	408	172	122	114
08_河西北部地域	175	184	77	55	52
09_河西西南部地域	178	187	79	56	52
10_四賀地域	33	35	14	11	10
11_安曇地域	24	26	11	8	7
12_奈川地域	22	24	10	7	7
13_梓川地域	87	92	38	28	26
14_波田地域	115	121	51	36	34
計	1,999	2,107	883	633	591

3ロット計			
発送数	回収数	回収率	目標達成率
512	157	30.7%	116.3%
801	231	28.8%	109.0%
744	213	28.6%	108.7%
460	115	25.0%	95.0%
172	56	32.6%	121.7%
1,216	332	27.3%	103.8%
1,550	453	29.2%	111.0%
700	197	28.1%	107.1%
713	219	30.7%	117.1%
140	45	32.1%	128.6%
100	35	35.0%	134.6%
100	35	35.0%	145.8%
348	93	26.7%	101.1%
460	139	30.2%	114.9%
8,016	2,320	28.9%	110.1%

不足 -6 世帯 里山辺、入山辺

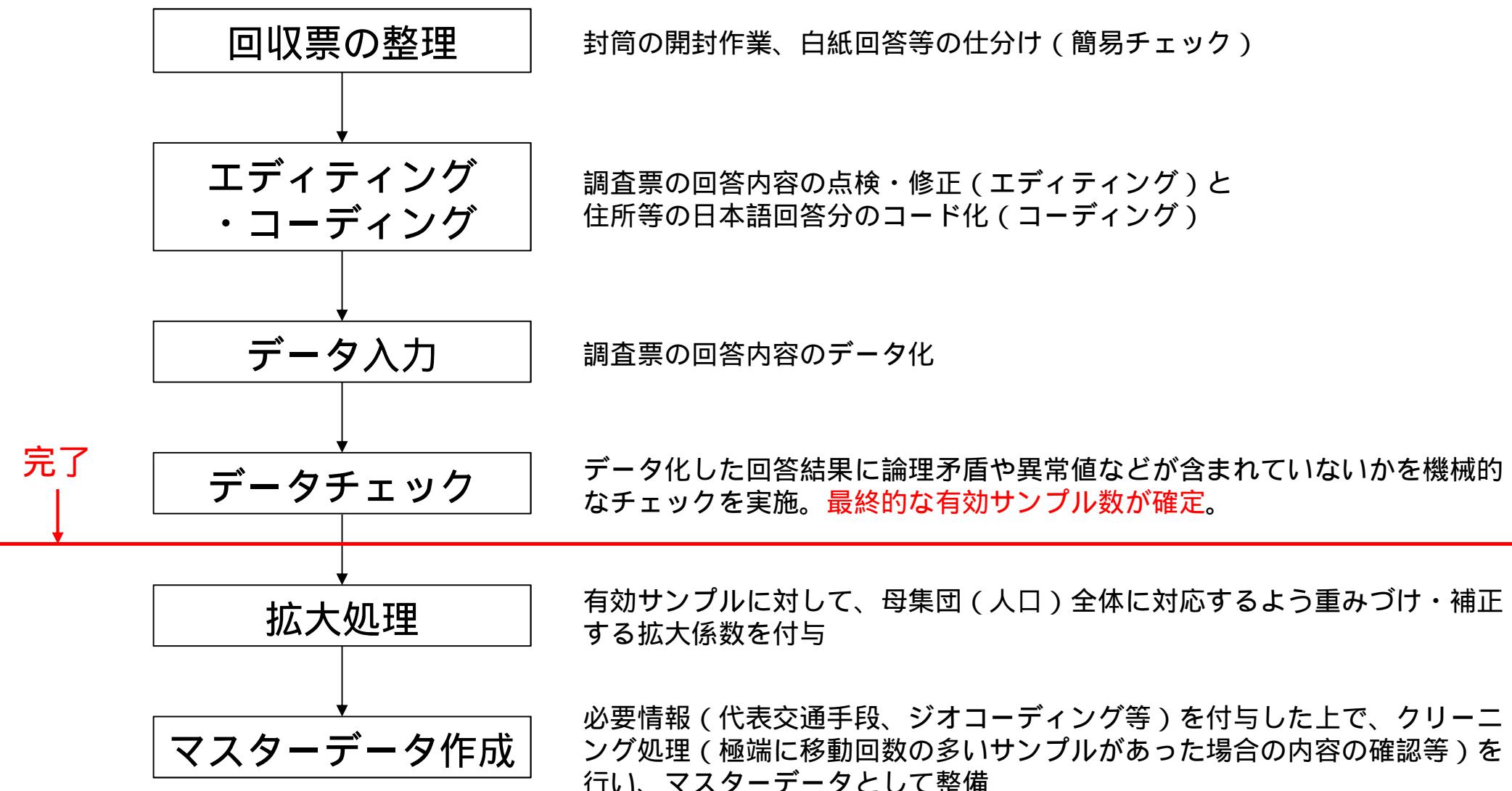


目標を達成

### 3. 回収～マスターデータ整備までの流れ

#### 回収後～マスターデータ整備までの流れ

- 現在、データチェックまで終了。年度内にマスターデータを整備。



### 3. 回収～マスターデータ整備までの流れ

#### 最終的な有効サンプル数

- 目標標本率1.78%とすると、個人単位では、4,070人分の有効サンプルが必要。  
データチェックの結果、目標を上回る平日**4,440人分**（標本率1.97%）、休日**4,189人分**（標本率1.86%）が有効サンプルを取得。

	目標有効サンプル数 標本率1.78%	有効サンプル数 (平日)		有効サンプル数 (休日)	
		A	B	目標達成率	C/A
				B/A	
01_中央部地域	231	273	118.2%	251	108.7%
02_中央北部地域	374	380	101.6%	354	94.7%
03_東山北部地域	371	429	115.6%	397	107.0%
04_東山中部地域	235	213	90.6%	204	86.8%
05_東山南部地域	93	118	126.9%	118	126.9%
06_南部地域	623	649	104.2%	619	99.4%
07_中央南部地域	747	845	113.1%	808	108.2%
08_河西北部地域	378	377	99.7%	351	92.9%
09_河西南部地域	400	448	112.0%	433	108.3%
10_四賀地域	67	89	132.8%	82	122.4%
11_安曇地域	42	55	131.0%	45	107.1%
12_奈川地域	40	65	162.5%	64	160.0%
13_梓川地域	208	200	96.2%	193	92.8%
14_波田地域	261	299	114.6%	270	103.4%
計	4,070	4,440	109.1%	4,189	102.9%

標本率	1.78%	1.97%		1.86%	
回収票に対する有効率	-	96.0%		91.4%	



目標を達成

### 3. 回収～マスターデータ整備までの流れ

#### 性別・年齢階層別でみた有効サンプル数と標本率

- 男性に比べ、女性の方が標本率は高い結果に。
- 年齢階層別では、男女とも若年層と高齢層で標本率に2～3倍程度の差が生じる結果に。

性別・年齢階層別に拡大処理を行い、5歳以上の市民全体の交通行動を表すデータに

男性

年齢階層	人口	有効サンプル数		標本率
		A	B	
5歳～14歳	10,150	151	151	1.49%
15歳～24歳	11,906	137	137	1.15%
25歳～34歳	12,286	152	152	1.24%
35歳～44歳	13,441	180	180	1.34%
45歳～54歳	18,304	304	304	1.66%
55歳～64歳	15,229	310	310	2.04%
65歳～74歳	12,789	378	378	2.96%
75歳以上	16,290	462	462	2.84%
計	110,395	2,074	2,074	1.88%

女性

年齢階層	人口	有効サンプル数		標本率
		A	B	
5歳～14歳	9,546	170	170	1.78%
15歳～24歳	10,667	113	113	1.06%
25歳～34歳	11,140	162	162	1.45%
35歳～44歳	12,947	197	197	1.52%
45歳～54歳	17,666	336	336	1.90%
55歳～64歳	15,247	379	379	2.49%
65歳～74歳	13,773	436	436	3.17%
75歳以上	24,212	573	573	2.37%
計	115,198	2,366	2,366	2.05%

### 3. 回収～マスターデータ整備までの流れ

#### 拡大処理の方針

- 拡大処理は、調査で得られた1人のトリップデータが市民何人分を代表しているかを表す係数である**拡大係数**を有効サンプルに付与する処理のこと。
- 今回の調査では、性別×年齢階層×居住地ごとに拡大係数を付与する。
  - ・性別：2区分（男性、女性）
  - ・年齢階層：8区分（5～14歳、15～24歳、25～34歳、・・・65～74歳、75歳～）
  - ・居住地：35区分（松本市の35地区）
- 次年度から行う分析は、拡大係数を考慮して行う。

#### 拡大係数のイメージ



※拡大係数20とは、1サンプルを拡大後に20人分として扱うことである

出典) 国土交通省都市局「都市交通調査ガイドンス」

#### 35地区

地域区分	地区名	地域区分	地区名
1 中央部地域	中央・東部・第一・第二・第三	8 河西北部地域	島内・島立・新村
2 中央北部地域	白板・城北・安原・城東	9 河西南部地域	和田・神林・笛賀・今井
3 東山北部地域	岡田・本郷	10 四賀地域	四賀
4 東山中部地域	里山辺・入山辺	11 安曇地域	安曇
5 東山南部地域	中山・内田	12 奈川地域	奈川
6 南部地域	芳川・寿・寿台・松原	13 梓川地域	梓川
7 中央南部地域	田川・鎌田・松南・庄内	14 波田地域	波田

# 4. 次回(第7回)委員会での報告事項(案)

## 調査結果(速報値) 予定

- 基礎分析
  - ・市全体や属性別の外出率、平均移動回数
- 交通手段分担率に着目した分析
  - ・平日は、前回R1調査（R1の自動車分担率68.5%）と比較してどうか
  - ・今回初調査の休日の自動車分担率は、平日に比べてどうか
  - ・都市計画マスタープランの14地域別にみると自動車分担率はどうか
  - ・性別・年齢階層別の自動車分担率の傾向はどうか
- 自動車利用に着目した分析
  - ・自由に使える自動車の有無で、外出率や移動回数に差があるか